

西中だより

学校教育目標

目指す生徒像：豊かな心と学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる生徒

目指す学校像：すべての生徒に喜びと感動を育み、笑顔あふれる西中学校

川口市立西中学校

〒332-0028

川口市宮町16-1

Tel 048-253-1231

Fax 048-251-6792

令和5年3月1日発行

一生の運転手は じぶん

校長 三浦 伸之

飲食店内で撮影された迷惑行為の動画がSNSで拡散され、ニュース番組でも大きく取り上げられています。その動画には常識では考えられない、目を疑いたくなるような行為が映し出されています。例えばそれが未成年者であろうと、被害にあった会社の中には、刑事と民事の両面で厳正に対処すると発表した会社もあり、会社への信用や利益の損失がいかに重大なものであったのかを想像することができます。

また、SNSでは迷惑行為を行った人を探し、特定して本人の顔写真や氏名、周りにいた友人や在学する学校名までもが拡散されている状況です。人目を引くために常識から大きく逸脱した行為を行わせてしまうSNSの一面や、不特定多数の人に個人情報や拡散させてしまうネットユーザーのモラルの在り方など、SNSがもつ恐ろしさをあらためて実感したところです。

本校においては、これほどまでの大きな問題には至ってはいないものの、その入り口に一步踏み込んでしまいそうなスマートフォンやSNSの使い方は現実としてあります。スマートフォンを手にした瞬間から、誰もがその入り口にいるのだと考えることが正解なのかもしれません。

詩人でもあり、書家でもある相田みつをさんの作品に「車」という詩があります。

「アノネ どんな車よりもね 構造が複雑で 運転がむずかしい 車はね 自分という名の この車なんだな そして 一生の運転手は じぶん」という詩です。

自分という車を操作しながら、様々な方向に車を動かすのは自分自身です。自分で自分自身をコントロールできなければ、何かしらのトラブルや事故は起こります。トラブルや事故を未然に防ぐためには、今の自分を知ることなのではないでしょうか。

しかし、まだまだ経験の浅い子供たちが、「構造が複雑で 運転が難しい 車」を一人で運転することができるのでしょうか。大人でさえ誤った運転をする人もいます。

一人で自在に車を運転することが出来るようになるまでは、助手席からの教えやアドバイスが必要なのではないのでしょうか。

世界の自動車メーカー「ホンダ」を創設した本田宗一郎さんは、「ブレーキは、車を速く走らせるためにあるのだ」と言ったそうです。どんなに高性能な車でも止まることができなければ、運転手の安全を確保することはできません。

事前にブレーキを利くようにしておくこと、自分という車に例えるなら、自分を抑える心を育てるということなのかもしれません。私たちは、人との関りの中で多くのことを学びます。「自分を知る」ことや「自分を抑える」こともそのひとつだと思います。

3月15日は74期生の卒業式です。2か月遅れの入学式から始まった中学校生活でしたが、74期生はいつでもポジティブに前を向き前進してきました。西中がこの時代を明るく元気であることができたのは、74期生の温かくも心地よい風が吹いていたからです。

愛してやまない74期生の皆さんへ、ありがたうの言葉を送りたいと思います。

74期生は本校の卒業生であるとともに、保護者の皆様、地域の皆様が育てた大切な卒業生です。これからも卒業生の成長を温かく見守り、応援していただきますよう切にお願いいたします。

[illegible]